

第1回 2025 年に開催する国際博覧会関係閣僚会議 議事概要

日 時:平成30年12月21日(金) 10:50~11:00

場 所:官邸4階大会議室

出席者:菅内閣官房長官、麻生財務大臣、石井国土交通大臣、世耕経済産業大臣兼国際博覧会担当大臣、原田環境大臣、岩屋防衛大臣、宮腰国務大臣、渡辺復興大臣、櫻田国務大臣、平井国務大臣、吉川農林水産大臣、石田総務大臣、山本国務大臣、柴山文部科学大臣、片山国務大臣、山下法務大臣、堀井外務大臣政務官、西村内閣官房副長官、野上内閣官房副長官、大口厚生労働副大臣、長尾内閣府大臣政務官、辻外務大臣政務官、杉田内閣官房副長官、長谷川総理大臣補佐官、古谷内閣官房副長官補、兼原内閣官房副長官補、藤木経済産業省商務・サービス審議官

○菅内閣官房長官より、冒頭挨拶。

- ・ 先月23日に2025年万博の開催国が、日本に決定しました。
- ・ これまで、政府、地元自治体、経済界がオールジャパンの体制で、全力で誘致活動に取り組んできたことが実ったものであり、皆様の御尽力に深く感謝しています。
- ・ 民間において「2025年日本国際博覧会協会」の設立準備が整ったことを踏まえ、官民一体となった準備態勢を構築することが必要です。このため、政府においても、本日の閣議において、世耕経済産業大臣を担当大臣に指定し、関係閣僚会議を開催することとしました。
- ・ 大阪・関西万博に、より多くの国に参加してもらい、世界中の人々に「夢」や「驚き」を与える万博を実現するため、関係閣僚は連携して、準備に万全を尽くしていただくようお願いいたします。

○世耕経済産業大臣兼国際博覧会担当大臣より、「2025年国際博覧会の概要及び今後のスケジュール」(資料1)について説明。

- ・ 日本は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、「人」にフォーカスし、幸福で健康な生き方と、それを支える持続可能な社会・経済の未来像を、世界各国と共に創る国際博覧会を提案してきました。先月のBIE（博覧会国際事務局）総会での開催国決定投票において、ロシア及びアゼルバイジャンを上回る支持を得て、開催国に選ばれたところです。
- ・ 今後の主なスケジュールは、近日中に、民間において、博覧会を開催する法人である「2025年日本国際博覧会協会」が設立される予定です。また、政府においては、来年の通常国会に、博覧会の円滑な準備及び運営のための特別措置法案を提出する予定です。さらに、2020年5月が期限となっているBIEへの登録申請に向けて開催計画を具体化していくことが必要です。関係府省庁の皆様には、日本館建設や警備などの実務的な御協力に加え、テーマの深掘りといった中身での御協力もお願いいたします。
- ・ 日本が開催する国際博覧会のポイントは、以下の3点です。
 - ① 誘致段階では、国連が採択した持続可能な開発目標（SDGs）の達成への貢献、という訴えが国際的に評価されました。従って、途上国を含めた多くの参加国と共に創る万博とすることが重要です。
 - ② また、万博を、新たなアイデアが続々と生まれ、社会実装に向けて試行される「未来社会の実験場」とします。
 - ③ さらに、万博は、日本の魅力を世界に発信する絶好の機会です。開催地である大阪・関西のみならず、日本各地を訪れる観光客を増大させ、地域経済が活性化する「起爆剤」となります。
- ・ これら3点の達成のため、関係閣僚の皆様におかれましては、引き続き御協力をお願いいたします。

○各閣僚等より意見。

（柴山文部科学大臣）

- ・ 文部科学省では、今後、具体化する開催準備に向け、特に、
 - ① SDGs（持続可能な開発目標）達成のための科学技術イノベーションの推進
 - ② AI（人工知能）やVR（バーチャル・リアリティ）のような、世界最先端技術・知見の提供を通じた「未来社会の実験場」の実現
 - ③ 京都へ本格移転する文化庁を中心に、我が国の素晴らしい文化芸術の創造・発信

といった観点から、関係府省とも連携しつつ、積極的に協力してまいります。

(原田環境大臣)

- ・ 本年4月に閣議決定された「第五次環境基本計画」では、今後の社会像として、地域資源を活用し、近隣地域等と補完し支えあう自立・分散型の社会である「地域循環共生圏」、「環境・生命文明社会」を目指す旨を提唱しています。
- ・ これはまさに、2025年万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、また、誘致の際のキーワードとなった「Society 5.0を鍵としたSDGs達成への貢献」とも方向性を同じくするものです。
- ・ 今後の万博の内容の具体化に向けて、環境省としても知見の提供など様々な形で、積極的に協力していきます。

(辻外務大臣政務官)

- ・ 大阪・関西万博の誘致において、外務省としても国内外のあらゆる機会を活用し支持要請を行い、各国首都においても大使を先頭に全力で働きかけを実施してきました。このような努力が結果につながったことは大変喜ばしいことです。
- ・ 2025年の大阪・関西万博の開催に向け、外務省としても参加国の招請等、引き続き貢献していきます。

○世耕経済産業大臣兼国際博覧会担当大臣より、閉会の挨拶。

- ・ 2025年国際博覧会の開催まで約6年4か月しかありません。これから準備が本格化します。開催5年前の2020年頃からは、各国への参加招請が本格化し、博覧会参加国の受け入れ円滑化のための制度整備も図っていくことが必要になります。博覧会の成功に向けて、関係閣僚の御協力をよろしく願いいたします。

以上